

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

自然の恵みを活用した広域での魅力ある観光地づくり

自治体名

草津町

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか?を、「問い」のかたちにまとめました。

1 官と民の壁

行政と民間の間にある観光協会や組合が行政と民間事業者・地域住民などの架け橋になることで官と民の連携をスムーズにするために、何が可能か?

2 情報の分断とミスマッチ

旅行に行きたい若者(旅行者)がSNS等で情報を得ることで実行に移すために、何が可能か?

3 観光資源の発掘

たくさんの観光資源がある町村がその魅力を伝える方法を得ることで観光客の増加につながるために、何が可能か?

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

| | | | |
|---------------------|--|--------------------|--|
| | | USTA・SUK | 2023年9月に湯畑と熱の湯の間の特別ブースにて、観光に訪れている若者にウラ草津を発掘してもらうイベントを企画する。湯畑とゆもみ「以外」の知られざる魅力を発掘してもらう。 |
| 官民人事交流・観光協会間のトレード出向 | 年度人事タイミングで、観光セクション責任者が観光にまつわる自治体同士の人事トレード出向を行う。人事交流を行い、自然をテーマに広域連携を見直す。交流を行うことから双方の立場から地元の人気がない部分を見直すことができる。 | アナザー草津 ID "YUMOCA" | 2025年7月1日から全ての草津町観光施設にて、観光業に携わる全草津人が公職名と私職を記入したIDカードを発行できる。またIDカードにより、人の得意な分野のおもてなし方法がわかる。 |
| 草津町民が行く、草津観光体験ツアー | 9月3日(2日間)で、草津町全域にて観光客なりきり体験ツアーの開催。草津町民がバスターミナルに集合し、高崎に移動。そこで参加者は降ろされ、「電車」とバスだけで観光客になりきり街を巡ってもらう。 | 湯畑からMAP | 2023年度中に観光客が必ず訪れる湯畑で、町及び観光協会・組合が湯畑から草津への自然名所へ誘う湯畑からMAPを作成し、配布する。 |